総務委員長報告

令和4年12月16日

今期定例会において、総務委員会に付託されました議案8件及び陳情1件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第98号 専決処分の承認を求めることについて本委員会に付託をされた部分についてであります。

本案は、専決第8号 令和4年度西都市一般会計予算補正（第9号）について、議会の承認を求めようとするものであります。

歳入については、県支出金2億2,510万円などが計上されております。

歳出については、総務費に修繕料が計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり承認すべきものと決しました。

次に、議案第99号 専決処分の承認を求めることについて本委員会に付託をされた部分についてであります。

本案は、専決第9号 令和4年度西都市一般会計予算補正（第10号）について、議会の承認を求めようとするものであります。

歳入については、国庫支出金3億7,732万2千円などが計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり承認すべきものと決しました。

次に、議案第100号 専決処分の承認を求めることについてであります。

本案は、専決第10号 令和4年度西都市一般会計予算補正（第11号）について、議会の承認を求めようとするものであります。

歳入については、地方交付税22万円が計上されております。

歳出については、総務費に弁護士業務委託料22万円が計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、ある委員より

「本案は、地方独立行政法人西都児湯医療センター理事長解任処分取消請求事件に係る宮崎地方裁判所の判決を不服として福岡高等裁判所宮崎支部に控訴するための弁護士費用22万円を計上している。

令和4年10月26日、宮崎地方裁判所は『本件解任処分は、原告の言動等の認定ないし評価に対する正しい理解を欠いているだけでなく、拙速に結論ありきでなされたものであるといわざるを得ず、地方独立行政法人法17条2項にいう、「役員たるに適しないと認めるとき」との要件を欠くのになされた違法なものといわざるを得ない』として、解任処分を取り消すとの厳しい判決がだされた。このことから本案は「正当なものとは承認できず反対である」

との反対討論がありましたが、採決の結果、賛成多数をもって原案のとおり承認すべきものと決しました。

次に、議案第102号 専決処分の承認を求めることについて
であります。

本案は、専決第12号 令和4年度西都市一般会計予算補正（第12号）
について、議会の承認を求めようとするものであります。

歳入については、地方交付税293万3千円が計上されております。

歳出については、総務費に弁護士業務委託料33万円が計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会
一致をもって原案のとおり承認すべきものと決しました。

次に、議案第103号 西都市個人情報の保護に関する法律施行条例の制
定について

であります。

本案は、個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、所要の整備を行お
うとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会
一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第107号 西都市職員の定年等に関する条例等の一部改正に
ついて

であります。

本案は、地方公務員法の一部改正に伴い、所要の整備を行おうとするも
のであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会
一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第 119 号

令和 4 年度西都市一般会計予算補正（第 14 号）について本委員会に付託をされた部分についてであります。

歳入について主なものは、国庫支出金 1 億 2,016 万 6 千円、寄附金 7 億 21 万円を増額補正する予算などが計上されております。

歳出について主なものは、総務費にふるさと振興基金などが計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第 125 号

令和 4 年度西都市一般会計予算補正（第 15 号）について本委員会に付託をされた部分についてであります。

歳入について主なものは、地方交付税 588 万 8 千円などが計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、陳情第 3 号 民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、
請願権等を守る為の陳情

であります。

本陳情は、西都市及び西都市議会において特定の宗教法人及びその関連団体との関係を遮断する内容の宣言・決議をしないことや市議会議員を含む公人及び私人に対し、特定の宗教に対する信仰の有無を問うたり、その団体との関係を調査・質問したりしないことを求めるものであります。

本陳情につきましては、ある委員より、

「今回提出された民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、
請願権等を守る為の陳情については、陳情理由等について反論するものではないが、陳情項目に、宣言・決議をしないことや調査・質問をしないことを求めている。このことは議会活動及び議員活動を制限することになりかねないものであり容認できない」

との反対討論があり、採決の結果、全会一致をもって不採択とすべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。